

コロナ禍で学んだ「感染予防行動」を、場面に応じて実践しよう！

# 保健だよい

令和7年10月  
本巣松陽高校  
保健室(島崎)

ようやく秋めいてきました。今年の夏も暑かったですね。岐阜県の猛暑日(最高気温 35℃以上)と熱帯夜(最低気温25℃以上)は共に、過去最多日数だったそうです。皆さんの自己管理により熱中症での救急搬送や、感染症の拡大が起きることなく、秋の行事を行うことができました。今後は一日の寒暖差に注意して過ごしましょう。



## 「あなたは知ってる?! 頼もしい**救助袋**」

みなさんは学校に『救助袋』があることを知っていますか？保健委員会では、银杏祭の企画で校内の『救助袋』について調査し、実際に保健委員が救助袋体験をした感想をまとめ、展示しました。

### 『救助袋』とは

災害時に、中高層の建物から地上へ安全に避難するための避難器具の一つ。  
窓やベランダから降下させ、布状の袋の内部を滑り降る。



↑ 银杏祭後も保健室前に展示中

本巣松陽高校には3か所あります！

①本館3階廊下

②南舎3階選択1教室

③南舎3階ロッカー室



### 斜降型救助袋

- 約45度の滑り台様で、地上側での固定が必要。
- 乳幼児や体が不自由な方を抱っこして降りられる。



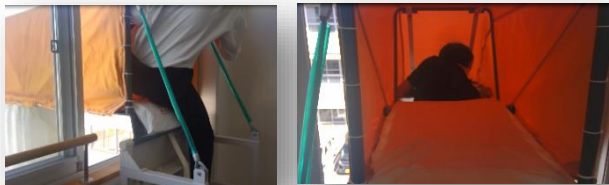
### 垂直型救助袋

- 内部はらせん状で、ゆっくりと降りる構造。
- 地上側の固定が不要。
- 自力で歩ける人が対象。

参考・イラスト:日本学校保健研修社「健」

# 保健委員が**救助袋**で避難体験した感想

①入口が狭いため外枠をしっかり持って足から入るのがコツ。閉所恐怖症や高所恐怖症の人は少し勇気があるけど、中に入れば大丈夫👍



## ②垂直型

立ちながらせん状に回転して降りていくよ。落下したりしないから安心して！  
ここをゆっくり降りているのわかるかな？！



## ③斜降型

手足を浮かすとスピードが上がったよ。  
両足を閉じると遅くなってスピードの調節は可能。  
地上の人が、着地の時に起こしてくれると安心。



## 【その他の感想】

- スリッパや靴を履いていると摩擦で遅くなる。脱いで手に持つか、地上へ投げておくべし！
- 設置も避難も、みんなの協力が大切。
- 設置より片付けの方が大変だった！

今回の避難体験は、救助袋の管理業者の立ち合いの元、先に教師が体験した上で行いました。保健委員のみなさん、お疲れさまでした！

また、昨年度に続き、银杏祭当日は**VRによる浸水疑似体験**も行いました。  
予想を超える105人が参加し、防災意識の向上を図りました。

エレベーターで上層階に行こうとしたら停電で水が侵入してきて溺れた。先のことを考えて、行動できるようにしたい。



たった数分で運命が変わってしまう。避難警報が出た必ず避難する!!

VRが予想以上にリアルで恐怖だった。



立川教頭先生も参加してくださいました↑

## 『いのちの授業』を行いました

「いのちの理由 ～コウノドリの現場から、あなたへ～」



10月2日(木)岐阜県総合医療センター新生児内科主任医長の寺澤大祐先生をお招きし、全校生徒が『いのちの授業』を受けました。NICUで小さな赤ちゃんの命を救うことに全力で向き合う寺澤先生のお話しは、映像や音楽などと合わさって心に強く響き、引き込まれました。それぞれに「いのち」「生きる」「生命力」「人とのつながり」等について考えを深めました。みなさんの感想を紹介します。

- ・「生きている理由」「生まれた理由」を自問自答して苦しくなることがあったけれど、今日答えが見えた気がします。
- ・自分はダメな人間だと思っていたが、自分も可能性を秘めているということに気付けてもっと頑張ろうと思えました。
- ・両親と「誕生日・命」について話すきっかけになりました。
- ・支えてくれている人の顔が浮かび、涙があふれました。

